国語1　インタビューをする（社会で働く上で大切なこと）

1　南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の**【インターネットの記事】**、**【インタビューの前に準備したメモ】**、**【インタビューの様子】**を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インターネットの記事】

製品開発にかける思い

製品開発部
星野主任

電化製品を開発するに当たって、最も大事にしているのは、安全性です。お子様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使用できる製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。

現在、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、使う分だけ短時間でお湯を沸かせるのが特徴で、弊社の製品の中でも御好評をいただいているものの一つです。安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいことですが、よりよい製品をお届けできるように努力を重ねています。

【インタビューの前に準備したメモ】

〈インタビューの目的〉

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。①

・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。

・社会で働く上で何が大切だと思うか。

【インタビューの様子】

南　青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を拝見しました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

星野　こちらこそ、よろしくお願いします。

南　早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野　はい。お客様の安全を守るための配慮をすることは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様のニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に使用できる利便性が求められるからです。お客様向けのアンケート調査などからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かのはずみで倒れる可能性があります。だからといって、倒れにくい形状にすることだけを考えると、デザイン性が損なわれてしまいます。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくい構造になっています。このように、安全性とデザイン性との両立を図っています。

南　なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているのですね。

星野　そのとおりです。どの製品を開発するに当たっても、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してくださるお客様の期待に応えるために、努力は惜しみません。

南　お客様のことを大切にする思いが分かりました。次の質問ですが、先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性との両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性との両立についても、具体的に教えてください。

星野　例えば、利便性との両立という点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃるので、電気ケトルの軽量化にも努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなってしまうなど、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

南　②課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイディアを生み出しているのですか。私は美術部に所属しているのですが、よいアイディアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまうことがあるのです。

星野　よいアイディアはなかなか浮かばないものですよね。そういうとき、私は仲間と話し合うようにしています。年代や経験が異なるメンバーで話し合っていると、一人だけで考えていたときには思い付かなかったアイディアが生まれてきます。自分とは異なる考えや見方を生かすことは、学校でも職場でも大事なことではないでしょうか。

南　確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしていることはありますか。

星野　自分の専門分野以外にも目を向けることです。一つのことにとらわれすぎると、新たな発想は生まれません。様々な発見を大切にしながら働いています。

南　とても参考になりました。質問は以上です。

ありがとうございました。

一　南さんの**【インタビューの前に準備したメモ】**について説明したものとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

1　インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
2　質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
3　見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
4　話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。

二　南さんが**【インタビューの前に準備したメモ】**に――線部①「『安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい』と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、**【インターネットの記事】**のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の**1**から**4**までのうち、最も適切なものを**一つ**選びなさい。

1　事例は示されているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。
2　事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。
3　星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
4　星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。

三　**【インタビューの様子】**の――線部②「課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイディアを生み出しているのですか。私は美術部に所属しているのですが、よいアイディアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまうことがあるのです。」について説明したものとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

1　正しい情報を引き出すために、自分が事前に調査したことの相違点を指摘しながら質問をしている。
2　さらに聞きたい話を引き出すために、星野さんの発言に自分の体験を関連付けて質問をしている。
3　一般的な考えを引き出すために、これまでの具体的な事例についての話を整理して質問をしている。
4　新たな意見を引き出すために、星野さんとは異なる立場の意見を取り上げながら質問をしている。

四　**【インタビューの様子】**の［　　］で南さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　**【インタビューの様子】**から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。
条件2　**条件1**で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

※　次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

出題の趣旨

目的をもってインタビューをする場面において、次のことができるかどうかをみる。
- 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること
- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること
- 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問すること
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること

「A話すこと・聞くこと」の学習においては、「話題の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討、考えの形成（話すこと）」、「表現、共有（話すこと）」、「構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）」、「話合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）」に関する各指導事項が示す資質・能力を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。また、「話題の設定、情報の収集」に関する指導事項が、「話すこと」、「聞くこと」、「話し合うこと」に共通する指導事項であることに留意し、「話すこと」だけではなく、「聞くこと」や「話し合うこと」を中心とした学習においても、何のために、何を話題として取り上げるのかを明確にすることが必要である。

情報を集めるためにインタビューをするとは、目的をもって特定の相手に質問し、必要な情報を聞き出すことである。そのため、聞きたいことを事前に整理するなどして、知りたいことを明確にして臨むことが重要である。また、実際にインタビューをする場面では、話し手の意図を考えながら聞き、必要に応じて相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすることが大切である。

本問では、総合的な学習の時間において、「社会で働く上で大切なこと」について考えるために、インタビューをする場面を設定した。目的に応じて集めた情報を基に知りたいことを整理し、相手の話を捉えて効果的に質問したり、聞き取ったことを基に自分の考えをまとめたりすることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

ア　紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。

〔第２学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

ア　説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動。

(参考)

〔第３学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

ア　提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動。

設問一

趣旨

目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

ア　目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。　《話題の設定、情報の収集（聞くこと）》

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
1	一	1	１と解答しているもの	87.7	◎
		2	２と解答しているもの	3.6	
		3	３と解答しているもの	2.4	
		4	４と解答しているもの	6.1	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.1	

２．分析結果と課題

○　解答類型２～４の反応率の合計は12.1%である。このように解答した生徒は、目的や場面に応じて質問する内容を検討することに課題がある。

３．学習指導に当たって

目的や場面に応じて質問する内容を検討する

情報を集めるためにインタビューなどをする際には、何のために、誰を対象に、どのような状況で話したり聞いたりするのかを具体的に考えながら話題を設定し、質問の内容や順番を検討することが大切である。その際、考えた質問が、目的や相手、状況に合っているかどうかを判断できるように指導することが重要である。

例えば、インタビューをする前に、質問したり相手の話を理解したりするために集めた材料を、内容ごとに分類したり、それらを比較したり関係付けたりしながら整理し、インタビューのためのメモを作成するなどの学習活動が考えられる。その際、インタビューの目的を念頭に置き、実際にやりとりをする場面を具体的にイメージしながら、メモの内容を検討するように指導することが大切である。

設問二

趣旨

意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第１学年〕　知識及び技能

⑵　情報の扱い方に関する事項

ア　原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。

《情報と情報との関係》

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
1	二	1	１と解答しているもの	2.7	
		2	２と解答しているもの	22.1	
		3	３と解答しているもの	65.3	◎
		4	４と解答しているもの	9.7	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

２．分析結果と課題

○　解答類型１、２、４の反応率の合計は34.5%である。このように解答した生徒は、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題がある。

解答類型２の生徒は、**【インターネットの記事】**にある「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています」という部分が、星野さんの考えを示した情報であることを捉えることができていないものと考えられる。解答類型４の生徒は、**【インターネットの記事】**にある「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています」という部分が、星野さんの考えを示した情報であることは捉えられているが、それを支える理由も示されていると誤って捉えたものと考えられる。

３．学習指導に当たって

意見と根拠など情報と情報との関係について理解する

相手の意見を理解したり自分の意見を述べたりするためには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章の中に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要である。そのためには、考えとともに考えの拠り所となる事例が示されているかを確かめるなど、話や文章の中に示されている考えと、それを支える根拠との関係を明らかにすることができるように指導することが大切である。その際、各学年の〔思考力、判断力、表現力等〕の「Ａ話すこと・聞くこと」(2)アに示されているような「話したり聞いたりする活動」や、「Ｂ書くこと」(2)アに示されているような「説明的な文章を書く活動」などとの関連を図ることが効果的である。

例えば、インタビューを行ったりレポートを書いたりする前に、目的や場面、意図に応じて資料を集め、資料から必要な情報を取り出して整理するなどの学習活動が考えられる。その際、資料の内容を理解するだけでなく、意見と根拠などの関係に注意して、不足している情報がないかやその関係が適切かなど、情報と情報とがどのように結び付いているのかを捉えることができるように指導することが大切である。

【コラム①】〔知識及び技能〕の位置付けの工夫
～「意見と根拠の関係」を捉え、論理的に考える～

● 〔知識及び技能〕に示されている事項は、国語で理解したり表現したりする様々な場面で生きて働くものとして身に付けるために、〔思考力、判断力、表現力等〕に示されている事項の指導を通して指導することを基本としています。

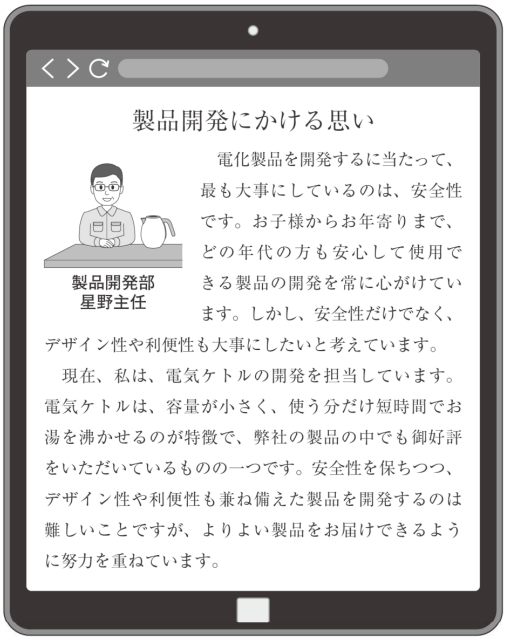
平成29年告示の学習指導要領では、〔知識及び技能〕に「(2)情報の扱い方に関する事項」が新設されました。「(2)情報の扱い方に関する事項」は「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系統に整理されており、「情報と情報との関係」については、話したり聞いたり書いたり読んだりするために共通して必要となる、基本的な「情報と情報との関係」が系統的に示されています。二つの学年にわたって指導する内容が含まれていることにも留意する必要があります。

	(小) 第5学年及び第6学年	(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年
情報と情報との関係	ア 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

※ 下線は追加

1の設問二は、**【インタビューの前に準備したメモ】**の質問の一つが、**【インターネットの記事】**の情報に基づいているものであることを示した上で、「星野さんの考え」と「事例」がどのような関係になっているのかを捉えることを求めたものです。設問一の正答率が87.7%であることから、インタビューの前に、目的に沿った質問をするために知りたいことを整理するというプロセスの有用性については、多くの生徒が理解しているものと考えられます。そうした活動の際に、原因と結果、意見と根拠などの関係を捉え、物事を筋道立てて理解したり表現したりできるようにしていくことが大切です。

【インターネットの記事】



教 師

話し手や書き手の意見を理解するには、どのような考えをもっているのかを捉えるだけでなく、どうしてそう考えるのか、考えの理由や根拠を捉えることが大切です。しかし、限られた紙面や時間の中では、理由や根拠が十分に示されていないこともあります。【インターネットの記事】では、どのようになっていますか。

星野さんは、電化製品を開発するに当たって、「安全性」を「最も大事にしている」と述べています。どのような背景があるのかは書かれていませんが、厳しい安全基準があると聞いたことがあります。それが理由なのでしょうか。

「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とも述べています。「難しいこと」だけれど「努力を重ねています」とあるので、とても強い思いであることは分かるのですが、なぜ、星野さんがそう考えるのかは、この記事だけでは分かりませんね。

インタビューや話合いの場面で、どうしてそのように考えるのかを質問し、相手の話をより深く理解することは、自分の考えを深めたり、よりよい判断をしたりするために大切なことですね。

設問三

趣旨

話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

エ　必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

《構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）》

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
1	三	1	１と解答しているもの	2.4	
		2	２と解答しているもの	76.8	◎
		3	３と解答しているもの	5.2	
		4	４と解答しているもの	15.4	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

２．分析結果と課題

○　解答類型１、３、４の反応率の合計は23.0％である。このように解答した生徒は、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することに課題がある。

解答類型４の生徒は、南さんが、星野さんの「毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。」という発言を受けて、星野さん自身の考えや体験を引き出そうとしていることを理解できていないものと考えられる。また、「私は美術部に所属しているのですが、よいアイディアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまうことがあるのです。」という南さんの発言が、自分の体験を関連付けて述べているのではなく、星野さんとは異なる立場の意見を述べていると誤って捉えたものとも考えられる。

３．学習指導に当たって

話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する

話し手に質問する際には、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することが重要である。その際、目的や状況を意識した上で、質問の意図を伝えたり、適切な機会を捉えたりできるように指導することが大切である。

例えば、実際にインタビューをする学習の中に、共通の目的や状況を設定し、それらに応じた質問の仕方や内容、適切なタイミングなどを検討する活動を位置付けることが考えられる。その際、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができたか、発言の仕方が効果的であったかなどを振り返ることが重要である。質問の意図を確かめたり、質問を受けた話し手の様子や回答の内容に着目したりするなど、生徒が具体的な場面を捉えて、よい点や改善点などを整理することができるように指導することが大切である。振り返りの際には、録画したインタビューの動画を視聴するなど、ICT 機器を活用することも効果的である。

設問四

趣旨

聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A　話すこと・聞くこと

エ　必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

《構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）》

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
1	四	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　**【インタビューの様子】**から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書いている。 ②　「社会で働く上で大切なこと」について、インタビューを通して自分がどのようなことを考えたのかが分かるように書いている。 （正答例） ・　星野さんのお話を伺い、自分とは異なる考えや見方を生かすことの大切さが分かりました。私も社会で働くときには、仲間と話し合うことを大切にしようと思いました。 ・　「お客様の期待に応えるために、努力は惜しみません」という言葉が印象に残りました。誰かの役に立ちたいという思いは、責任感をもって仕事をすることにつながると考えました。 ・　私なら、「自分の専門分野以外にも目を向けること」を取り上げ、社会で働く上で、広い視野をもつことが大切だと考えたと話す。			
		1	条件①、②を満たして解答しているもの	82.7	◎
		2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	4.4	
		3	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	0.7	
		99	上記以外の解答	1.6	
		0	無解答	10.6	

２．分析結果と課題

○　解答類型２について、具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 社会で働く上で大切なことが分かりました。自分だけでなく他の意見を参考にしていることが分かりました。

- 私は、電気ケトルの構造を簡素化することで、熱が伝わりやすくなるということが面白いと思いました。

このように解答した生徒は、**【インタビューの様子】**から星野さんの話の内容を具体的に取り上げることはできているが、「社会で働く上で大切なこと」について、自分がどのようなことを考えたのかが分かるように書くことができていない。

○　解答類型３について、具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
- 社会で大切なのは、あいさつだと思う。

- 星野さんのお話を伺って、自分も広い世界を見ることを大切にして社会で働いていきたいと考えました。

このように解答した生徒は、「社会で働く上で大切なこと」について、自分がどのようなことを考えたのかが分かるように書くことはできているが、星野さんの話のどのような内容を基に考えたのかを書くことができていない。

３．学習指導に当たって

聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる

聞き取ったことを基に、自分の考えをまとめる際には、聞き取った話の内容を整理し、話し手と自分の考えとを比較したり、関連付けたりできるようにすることが重要である。そのためには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、必要に応じて重要な情報を書き留めるなど、話の内容を正確に理解できるように指導することが大切である。さらに、聞き取った話の内容を基に、自分の経験や考えとの共通点や相違点、疑問点などを整理し、自分の考えをまとめることができるようにすることも大切である。

例えば、インタビューの様子を録画した動画を視聴し、自分がインタビュアーならば、インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるかを考える学習活動が考えられる。その際、聞きながら考えたり、聞いたことを基に考えたりできるように、必要な情報やその場で気付いたことを書き留めるよう指導することが大切である。また、それぞれが考えたまとめの言葉について交流し、聞き取ったことを基に自分の考えをもつことができているか、場にふさわしい伝え方になっているかなどについて、生徒同士が検討する場面を設定することも効果的である。具体的な授業のアイディアの一例を次に示す。

授業アイディア例　聞き取ったことを基に効果的に質問し、自分の考えをまとめる

【本アイディア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】

設問三　正答率76.8％

設問四　正答率82.7％

〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A

エ　必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

教　材

- 令和５年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語1（改変）
- 教師が作成したインタビューのシナリオ、教科書に掲載されているインタビュー

※　本アイディア例では、調査問題の**【インタビューの様子】**を一部改変したものを用いている。

学習の流れ

第１時

❶　これまでの経験を振り返り、学習の見通しをもつ。

教 師　インタビューについての経験を振り返ってみましょう。よいインタビューをするために大切なのは、どのようなことだと思いますか。

〔生徒の発言の例〕

相手の話を正確に聞き取ることや、場に応じた言葉遣いで話すことが大切だと思います。

それも大事ですが、聞きたいことがあるからインタビューをしているので、知りたいことをしっかり質問することが大切だと思います。

私は、相手から「どうして、そのようなことを聞くのですか」と聞き返されたことがあります。なぜその質問をするのか、明確にすることも大事だと思います。

皆さんが発表した内容は、とても大切なことですね。今回の学習では、特に次のことを意識して、インタビューの質問について考えてみましょう。

〔板書例〕

ポイント

◎効果的に質問するために意識してみよう
・知りたい情報に合う質問をすること
・相手の話の内容を捉えて質問すること
・なぜその質問をするのか意図が伝わるように質問すること
・適切な機会を捉えて質問すること

❷　〔インタビューの様子〕の音声を聞き、南さんの質問について、よい点や工夫できる点についてグループで話し合う。

今回の学習では、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することを目指します。これからグループごとに、南さんと星野さんのインタビューの音声を聞きます。気になったところは音声を止めて聞き直しながら、南さんの質問のよい点やもっと工夫できる点について、板書した四つの観点から考えてみましょう。

〔インタビューの様子〕※　〔インタビューの様子〕の音声を聞きながら話し合う際に、生徒の実態に応じて、〔インタビューの様子〕を書き起こしたものを併用することも考えられる。

南❶　青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を拝見しました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

星野①　こちらこそ、よろしくお願いします。

南❷　早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野②　はい。お客様の安全を守るための配慮をすることは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様のニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に使用できる利便性が求められるからです。お客様向けのアンケート調査などからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かのはずみで倒れる可能性があります。だからといって、倒れにくい形状にすることだけを考えると、デザイン性が損なわれてしまいます。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくい構造になっています。このように、安全性とデザイン性との両立を図っています。

南❸　なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているのですね。

星野③　そのとおりです。どの製品を開発するに当たっても、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してくださるお客様の期待に応えるために、努力は惜しみません。

南❹　お客様のことを大切にする思いが分かりました。次の質問ですが、先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性との両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性との両立についても、具体的に教えてください。

星野④　例えば、利便性との両立という点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃるので、電気ケトルの軽量化にも努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなってしまうなど、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

南❺　じゃあ、どうすればよいのですか。

星野⑤　そうですね……。そういうとき、私は仲間と話し合うようにしています。年代や経験が異なるメンバーで話し合っていると、一人だけで考えていたときには思い付かなかったアイディアが生まれてきます。自分とは異なる考えや見方を生かすことは、学校でも職場でも大事なことではないでしょうか。

南❻　確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしていることはありますか。

星野⑥　自分の専門分野以外にも目を向けることです。一つのことにとらわれすぎると、新たな発想は生まれません。様々な発見を大切にしながら働いています。

南❼　とても参考になりました。質問は以上です。ありがとうございました。

※　丸数字は、発言の順番を示している。

〔インタビューの様子〕の音声：https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang_onsei.mp3

〔生徒の発言の例〕

南さんの二つ目の発言（南❷）は、製品開発に対する思いを聞くというインタビューの目的に合った質問ができているので、よいと思いました。

南さんの四つ目の発言（南❹）で、「お客様のことを大切にする思いが分かりました。次の質問ですが……」と、次の質問をする前に、星野さんの話から分かったことを伝えているのが、よいと思いました。話の内容を捉えてインタビューを進めていることが、相手に伝わると思います。

南さんの五つ目の発言（南❺）は、「じゃあ」という言葉で始まっているので、思い付いた質問を突然言ってしまった感じがします。それに、「どうすればよいのですか」という聞き方では、質問の意図が星野さんに伝わらないのではないかと思います。

私もそこが気になりました。私なら、星野さんの発言を受け止めて、「そうなのですね。そのような難しい課題に向き合うときは、どうするのですか。」と聞きます。皆さんなら、どのように質問しますか。

❸　グループで話し合ったことを全体で共有する。
❹　学習を振り返る。

質問する際には、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することが大切ですね。その際、質問の意図が伝わるようにすることも重要です。

第２時

❺　学習の見通しをもつ。

前回は、南さんと星野さんのインタビューを聞きながら、効果的な質問について考えました。今日は、インタビューのまとめの言葉に注目してみます。インタビューの終わりの南さんの発言（南❼）について、皆さんはどのように思いますか。もう一度聞いてみましょう。

❻　〔インタビューの様子〕の音声を聞き、インタビューのまとめの言葉についてグループで話し合う。

〔生徒の発言の例〕

感謝をしっかり伝えていて、よい終わり方だと思います。それに「質問は以上です。」と、インタビューの終わりを明確に伝えているので、よいのではないでしょうか。

必要なことをしっかり伝えているのはよいと思うのですが、星野さんの立場で考えると、もの足りないような気がします。私だったら、星野さんの話についての感想も伝えたいと思うのですが、どうでしょうか。

確かに、相手の話に対する感想を述べるのはよいですね。ただ、このインタビューは、「社会で働く上で大切なこと」について考える際の参考にするためにしているので、自分の考えも伝えると、さらによいと思います。

では、皆さんから出された考えを踏まえて、〔インタビューの様子〕の南さんの七つ目の発言（南❼）をどのように工夫すればよいかを考えてみましょう。

❼　〔インタビューの様子〕の南さんの七つ目の発言（南❼）をどのように工夫するかを考える。

〔生徒が考えた例〕

- とても参考になりました。質問は以上です。「社会で働く上で大切なこと」が改めて分かりました。「お客様の期待に応えるために、努力は惜しみません」という言葉が心に残りました。ありがとうございました。
- とても参考になりました。質問は以上です。星野さんのお話を伺い、自分とは異なる考えや見方を生かすことの大切さが分かりました。私も社会で働くときには、仲間と話し合うことを大切にしようと思います。ありがとうございました。

聞き取ったことを基に、インタビューの目的に沿って自分の考えを伝えることができているでしょうか。

〔生徒の発言の例〕

一つ目は、話の内容を具体的に取り上げているので、どのようなことが特に印象に残ったのかが星野さんによく伝わると思います。自分の考えを伝えると、もっとよいと思います。

二つ目は、星野さんの話を踏まえて、「社会で働く上で大切なこと」について自分がどのようなことを考えたのかがよく伝わると思います。実際にインタビューをするときにも、このように話せるようになりたいです。

そうですね。星野さんの話の内容を具体的に取り上げることや、自分がどのように考えたのかを明確に伝えることが大事なのですね。

❽ 学習を振り返る。

ポイント

聞き取ったことを基に自分の考えをまとめる際には、聞き取った話の内容と自分の経験や考えとの共通点や相違点などを見いだすことが大切です。そのためには、必要に応じて質問したりメモを取ったりしながら聞くことで、話の内容を正確に理解することが必要ですね。

これから、総合的な学習の時間などでインタビューを行う際に、今回学習したことを実践してみましょう。

【活用する際のポイント】

○ 実際にインタビューを行う単元の前半に、本アイディア例の学習を位置付けることが有効である。また、他教科等の学習でインタビューを行う時期に合わせて、本アイディア例の学習を位置付けることも効果的である。

○ 総合的な学習の時間など、他教科等の学習で実践したインタビューの様子を録画し、本アイディア例の教材とすることも考えられる。